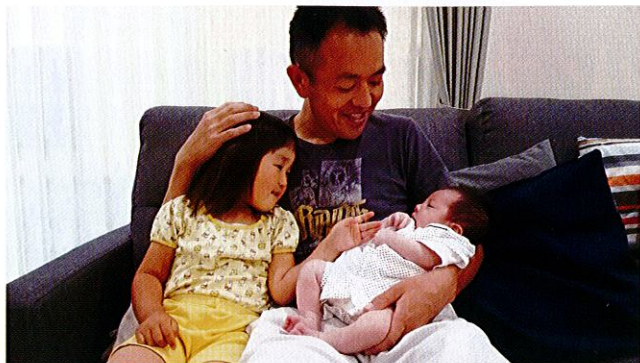




男性自衛官が「育メン」に奮戦中！



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己1等空佐）総務課に所属する佐々木隆行2等陸曹は、8月24日（木）に誕生した第2子となる女の子の育児等を行うため、現在育児休業を取得している。育児休業中は、3歳になる長女を毎日保育園へ送迎するほか、家の掃除や洗濯、買い物を行っている。また、産まれたばかりの第2子のオムツ交換や、泣いた時にはお得意の変顔と関西弁であやしている。

こんな「育メン」に奮戦中の佐々木2曹は「長女が誕生した時は、すべて嫁さん任せで迷惑を掛けたので、二人目の子供が誕生した時は育児休業を取得し罪滅ぼしをしたいと考えていました。今回、思い切って育児休業を取りたい旨を職場で申し出たところ、本部長以下、上司の方々より遠慮することなく育児休業を取得するよう言っていたくださりとても助かりました。これで嫁への恩返しもできます」と話していた。

静岡地本としては、政府・防衛省として推進している「ワークライフバランス」に関する施策に積極的に対応すべく、今後も育メンだけでなく「育ウーメン」にも配慮した勤務を推進していく。

地本部長が高校生の授業で講話



自衛隊静岡地方協力本部長・定免克己1等空佐は、9月14日（木）、県立伊東商業高等学校（伊東市）3年生の1クラスにおいて、講師として公民の授業を行った。

静岡地本は、これまでも中高生の社会授業の一環として職業講話を行ってきたおり、今回は選挙権が与えられる18歳を迎える生徒たちに、社会情勢について考えてもらいたいという学校側からの依頼で授業が実施された。

定免本部長は、「日本の防衛について」と題し我が国を取り巻く安全保障環境や各国の防衛力、我が国の防衛のための取り組みなどを高校生にもわかりやすく説明を行った。生徒たちは真剣な眼差しでスクリーンを見つめ、重要なところをノートに書き留め現役自衛官ならではの説明に熱心に聞き入っていた。

最後の質疑応答では、生徒たちから自衛隊の仕事や任務について質問が寄せられ、自分たちが暮らしている国の防衛や安全保障環境について理解を深めた様子であった。

静岡地本は、今後も各学校における安全保障などに関する講話を積極的に実施し、地域との連携を大切にして、自衛隊に対する関心や正しい理解を深めてもらえるよう業務に邁進していく。